

情報

ひがし労

第 22 号

2023年 9月29日

JR東労働組合 中央本部

発行人 松下 明

労働者の命を軽視する企業体質を許さない！！ 安全配慮義務の順守を勝ち取る本部集会を開催！！



全体で 140 名が結集！！

JR東労働組合は9月29日、本庄市民活動センター（はにぼんプラザ）において、「労働者の命を軽視する企業体質を許さない！！安全配慮義務の順守を勝ち取る本部集会」を開催し、組合員、家族、友人、知人など全体で140名が参加しました。

2022年9月29日、(株)JR東日本運輸サービス（JETS）尾久事業所において、作業長として勤務していた浅見雄治さんが業務中に虚血性心不全を発症し、47歳の若さでご逝去されました。集会では冒頭、尊い命を奪われた浅見雄治さんに対して哀悼の意を表し、黙祷を捧げました。

松下中央執行委員長から、①厚生労働大臣宛の「企業による労働者への『安全配慮義務』の厳格化を求める要望書」の取り組み②遺族と共にJR東日本運輸サービス会社への損害賠償請求裁判を不退転の覚悟で闘うことについて挨拶をしました。また、森田俊和衆議院議員秘書渡辺秘書にお越しいただき、連帯のご挨拶いただきました。その後、鈴木書記長よりこれまでの闘いの報告、各地本・青年部からは要望書を通じた組織強化・拡大の闘いの報告がされました。ご家族からの挨拶では、「会社が安全配慮義務を果たしていれば命が助かったかもしれない」「この間会社から一度も謝罪の言葉がなかった」など、二度と同様な事象が発生しないよう会社とたたかう決意が語られました。

JR東労働組合は、『抵抗とヒューマニズム』を基軸に労働組合として当たり前労働運動を展開し、劣悪な労働条件や労働環境にあえぐ労働者の結集を図り、働く者の権利を守り抜くために横断的労働組合を実現します。そして、遺族の思いに立ちJETSが「仕方がなかった」で済まそうとする理不尽さを暴き、会社を厳しく追及するとともに、広範な運動を展開していきます。



挨拶する浅見夫妻